

徳島市民病院経営強化プランの概要

経営健全化推進会議
平成29年9月27日

1. プラン策定の背景と目的

医療を取り巻く環境

① 医療環境の変化等

- ・ 医療費抑制を目的とした急性期病床の削減(H37年の姿:高度急性期病床18万床)
- ・ 厳しい診療報酬改定(H26改定:実質▲1.26%、7対1入院基本料の要件の強化)

② 国のがん対策の基本的な方向性

- ・ がん対策推進計画の見直しによる「緩和ケアの充実」等の追加(H24. 6)
- ・ がん診療連携拠点病院の指定要件の強化(H26. 1)

③ 医療介護総合確保推進法の方向性

- ・ 地域医療構想の策定(国のガイドラインは、平成26年度末の予定)
- ・ 都道府県の役割の強化(病床機能の分化、病床数の削減など)

市民病院における課題

① がん診療ニーズへの対応

- ・ 緩和ケア病棟を含めた、総合的ながん診療体制への対応
- ・ がん患者数の増加への対応(東部 I 医療圏 +0.8%/年)

② 市民ニーズへの対応

- ・ 「医療環境の充実」への対応(市民満足度調査の重要度:4回連続の1位)
- ・ 継続した質の高い医療の提供(診療実績に基づく高度医療の選択と強化)

③ 安定した経営にむけた対応

- ・ 入院患者数と病床利用率の伸び悩みへの対応(入院単価は、継続的に上昇)
- ・ 特色ある医療の提供による「市民病院ブランド」の向上

目 的

- ① **徳島市民病院が地域の医療において担うべき役割と責務を再確認するとともに、これからの市民病院の方向性を明確にする。**
- ② **経営強化プランを策定し、具体的な取り組み項目や数値目標を掲げることにより、その実現をより確かなものとし、経営を強化していく。**

2. 経営強化プランの概要

プラン策定に向けて

① 経営健全化推進会議の開催

- 学識経験者、地域住民の代表者などの外部有識者から幅広い視点からご意見をいただきプランに反映。

【H26.8.20(第1回)、H26.10.29(第2回)、H27.1.21(第3回)】

② パブリックコメントの実施

- 広く市民からの意見をいただくために、プラン案を提示

【期間:平成26年12月22日～平成27年1月20日】

【意見提出者数:2人、提出意見数:4件】

策 定

平成27年3月

計画期間

平成27年度～平成31年度までの5カ年計画

徳島市民病院経営強化プラン

平成27年度～平成31年度

【体系図】

I. 地域における役割と機能を果たすために

- ・ 地域医療連携機能等の充実
- ・ 急性期医療等の充実
- ・ 高度な専門医療等の充実
- ・ 市民の健康と安全のために

II. 次代を担う医療人を育てるために

- ・ 人材の確保及び育成
- ・ 臨床研修病院としての機能充実

III. 安心・安全な医療のために

- ・ 医療安全への取り組み
- ・ 感染対策への取り組み
- ・ 患者満足度の向上

IV. 健全な経営のために

- ・ 経費の効率的執行
- ・ 職員の意識改革
- ・ 経営分析と財務体質の強化
- ・ 経営基盤の安定化への取り組み

主な施策

① がんセンターの設置

国のがん対策の基本的な方向性にそった対応を目指し、安心かつ納得できる総合的なケアを目的としたがん診療体制を構築する。(平成27年4月)

② 緩和ケア病棟の設置

緩和ケアに対する社会的ニーズが高まるなか、がんになっても安心して暮らせる地域を目指し、緩和ケア病棟を設置する。(平成28年4月)

③ 医療スタッフの計画的な確保

「医療の質の向上」と「経営の安定化」を目的とした、計画的な職員採用を実施する。[H31目標 医師70人(計447人)]

④ 医療機器の計画的な更新

新病院開設時に設置した医療機器の計画的な更新を実施する。

[平成27～31年度 約42億円(電子カルテ更新の約7億円含む)]

主な数値目標 [平成31年度]

逆紹介患者数(人／月平均) 730人以上

救急車搬送患者数(人／月平均) 200人以上

新入院患者数(人／1日平均) 21.8人以上

手術件数(件／月平均) 300件以上

がん手術件数(件／月平均) 57.4件以上

病床利用率(%／病院全体) 85%以上

医業収支比率(%) 95%以上